

所属	看護医療学部臨床検査学科	職位	教授	氏名(学位)	高崎 昭彦 (博士 (医学))	
所属学会	生物試料分析科学会、日本分子生物学会、日本質量分析学会、日本臨床検査技師会、岐阜県臨床検査技師会					
専門領域	臨床検査医学、分子生物学、生化学、臨床化学、臨床血液学					
研究テーマ	疾患早期発見に向けた新規臨床検査法の開発 ～質量分析を用いた疾患バイオマーカー探索、疾患プロテオミクス解析～					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫 (授業評価等を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門科目実習の工夫 担当している「臨床化学実習」ではグループ毎に実習 (生化学検査) 項目を変え、それぞれのグループで影響物質、検体保存、抗凝固剤の影響について考えられる数値変化をあらかじめディスカッションさせ、実際に条件を加え実習させる。現場で起こりうる事項であるため、実習先病院からの評価も高い。 ・担当科目講義、国家試験対策講義の充実 担当科目の講義については、問題解決型講義を心掛け、臨床データから疾患を推察する R-CPC を多く取り入れている。より現場に近い内容を多く取り入れているため、学生からの評価も高い。 					
2 作成した教科書、教材、参考書	<p>メディカルサイエンス臨床化学検査学～病態生化学の視点から～ (近代出版社)</p> <p>医学領域における「臨床検査学入門」 (中央出版)</p>					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	<p>夢ナビライブ (高校生向け) 公開講義 (2011, 2012, 2017)</p> <p>なるほど健康講演会 (一般市民向け) 講演 (於: 岐阜県)</p> <p>「臨床検査値からみる健康」 (一般市民向け) 講演 (於: 静岡県)</p>					
4 その他教育上特記すべき事項	最終学年の国家試験対策に関しては、授業カリキュラム以外に特別補講を数多く実施し合格に向けた親身の指導を行っている。また就職委員長として卒業生早期 100%就職に向けての就職指導も行っている。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (および巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	頁数
学術論文	Selection and analysis of anti-cancer antibodies for cancer therapy obtained from antibody phage library.	共著	2011 年 1 月	Cancer Science vol.1.1	GeneKurosawa, Akihiko Takasaki, et. al	(p175-181)
学術論文	Identification of DNA-dependent protein kinase catalytic subunit as a novel interaction partner of lymphocyte enhancer factor 1.	共著	2012 年 10 月	Medical Molecular Morphology Vol.46	Atsushi shimomura, Akihiko Takasaki, RyujiNomura, Nobuhiro Hayashi and Takao Senda.	(p14-19)
学術論文	Expression and characterization of honeybee, Apis mellifera, larva chymotrypsin-like protease	共著	2014 年 6 月	Apidologie Vol.46,2	Takuma Matsuoka, Akihiko Takasaki, Tomoyuki Mishima, Takuji Kawashima, Yoshihiro Kanamaru, Tadashi Nakamura and Tomio Yabe	(p167-176)

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	Isolation of human monoclonal antibodies that bind to two different antigens and are encoded by germline VH and VL genes	共著	2018年6月	Biochemical and Biophysical Reserch Communications	M. Sumitomo-Kondo, Y. Ukai, Y. Iba, N. Ohshima, K. Miura, A. Takasaki, Y. Kurosawa, G. Kurosawa.	
学術論文	神経変性疾患の原因となるポリグルタミン鎖のアミロイド様線維形成に関する研究	共著	2020年1月	生物試料分析 (accepted)	林佐代子、服部高幸、高崎昭彦、石黒啓司	

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
.Functional analysis of a novel lncRNA expressed from the myogenin gene promoter during myogenesis	共同	2015年12月	Biochemistry and Molecular Biology 2015

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
平成19年9月	第12回日中友好大学野球大会 全日本選抜チーム 監督
平成22年2月	第19回生物試料分析科学学会大会 事務局長
平成23年4月	全日本学生軟式野球連盟 事務局長 (現在に至る)
平成24年5月	岐阜県臨床検査技師会 地区理事 (現在に至る)
平成27年5月	岐阜県臨床検査技師会 常務理事「広報宣伝部長」(現在に至る)
平成28年4月	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜「学生による地域課題解決事業」部会長 (現在に至る)
平成28年4月	岐阜県臨床検査精度管理 委員 (現在に至る)
平成28年4月	岐阜市臨床検査精度管理 委員 (現在に至る)
平成29年4月	岐阜県医師会 臨床検査精度管理 委員 (現在に至る)
平成30年5月	生物試料分析科学学会 理事/論文査読・編集委員 (現在に至る)
平成30年5月	第58回中部圏医学検査学会 実行委員長